



# 農大だより

URL <https://www.pref.kagawa.lg.jp/nodai/>

第 25 号 香川県立農業大学校  
〒766-0004  
仲多度郡琴平町榎井 34-3  
TEL 0877-75-1141  
FAX 0877-75-3989  
E-mail : nodai@pref.kagawa.lg.jp

- 専攻実習の取り組み □活躍する卒業生 □頑張る修了生 □校外講師の授業風景
- 免許・資格取得に挑戦 □同窓会だより □農大ふれあい市

## 専攻実習の取り組み

### トマト栽培に取り組み中

野菜園芸コース 鎌野 祐幹

私は四月から他の二年生三人と共に、校内で専攻実習に取り組んでいます。それぞれが卒業論文用の課題研究を行っています。私は興味のあるトマトについて試験を行うことにしました。

試験は、単為結果性のトマトの経済性や生育特性について調査することにしました。七月下旬に播種してから約一か月間育苗して八月下旬に本圃へ定植しましたが、その際の支柱は、直管パイプを組み合わせて頑丈なものにしたため、設置に手間が掛かりました(写真)。

現在は誘引整枝作業を行っています。今後はホルモン処理や摘果作業が加わ



る予定です。順調に生育すれば十月下旬頃から収穫が始まります。管理作業と並行して生育調査や収穫調査を行わなければならないので、多忙な専攻実習となりそうですが、卒業論文作成まで頑張つて、納得のいく論文に仕上げたいと思っています。

### 新型ハウスで快適な実習!

花き園芸コース 藤中 俊起

私は、フラワーアレンジメントに使用している農業法人で専攻実習を行っています。その法人の新型オリジナルハウスで、夏から本格的に卒業論文の調査を始めました。課題は、「新型オリジナルハウスの夏季ハウス内温度について」です。



このハウスで実習をしていると、暑い日でも学校の外部に遮光したハウスよりもはるかに涼しく、快適に作業ができるので、施設間の温度差に興味を持ち、調査することにしました。近年、温暖化等で気温が上昇する中、作物に障害が出たり、人にも悪影響が出ており、この調査が農作業の何らかの参考になればと思います。

専攻実習はまだ続きますが、法人の方々とコミュニケーションを大切に、社会人への勉強もしていこうと思います。

### ナシの卒論、実施中!!

果樹園芸コース 森安 達章

果樹園芸コースは、農大と農業試験場府中果樹研究所に分かれて専攻実習を行っています。この実習の中で卒業論文のテーマを各々が計画し、先生方から指導をいただきながら取り組んでいます。私はナシ「豊水」における早期摘果が果実品質に及ぼす影響をテーマとして、試験に取り組んでいます。



現在、果実は順調に肥大し、  
 待望の収穫を迎える季節とな  
 りました。今年は酷暑のため  
 に果実肥大に不安がありまし  
 たが、肥培管理に責任を持つ  
 て頑張ってきました。また、  
 台風等の気象災害を懸念し、  
 「結果枝の誘引固定」も入念  
 に行いました。しかし、ハク  
 ビシン等による被害があり、  
 早く無事に収穫期を迎えたい  
 と日々思っています。ちなみ  
 に写真は、夏休み返上で果樹  
 園に立ち寄り、果実の肥大調  
 査をしている私です。

ピザ窯を製作中

造園緑化コース 松崎 優一  
 私は卒業論文の一環として、  
 校内の庭園でピザ窯の製作に  
 取り組んでいます。  
 窯の製作に取り掛かる前に、

薪を焼く火床とピザを焼く焼  
 き床を、耐火セメントを用い  
 て型枠で作りました。窯の製  
 作作業では、まず、コンリー  
 トブロックを積んで窯を載せ  
 る基礎を作りました。この作  
 業では、水平を見ながら慎重  
 にブロックを積み、丁寧に目  
 地入れを行うように気をつけ  
 ました。



今後は、レンガを積みなが  
 ら火床や焼き床を設置すると  
 ともに、屋根や煙突をつけて  
 完成させる予定です。

専攻実習では、先生方に助  
 言等をお願いしながら自ら計画  
 し製作するので、自己の知識  
 や技能を鍛える良い経験にな  
 っています。

ミツバチ農家で実習中です

畜産コース 松本 紗耶  
 私は、今年の四月から高松  
 市中山町の中田養蜂で実習を  
 しています。この地区はミカ



からの蜜を集めます。私たち  
 は、移動可能な巣箱でミツバ  
 チの群れを管理しています。  
 巣箱の中には、ミツバチが巣  
 を作りやすい六角形の巣礎が  
 あります。蜂蜜がたまると巣  
 をこわさずに蜜を絞り出す遠  
 心分離器を使います。またミ  
 ツバチは、イチゴやタマネギ  
 の種、メロン、スイカ等の受  
 粉もしています。

私は、これからいろいろな  
 農業の経験を積んで香川の農  
 業に貢献していくつもりです。

活躍する卒業生

溝渕 敏広さん(高松市)  
 溝渕さんは、平成二七年に  
 農業大学校を卒業後、農大の  
 教育助手として二年間勤務し

その後、高松市鬼無町にある大  
 成造園に就職しました。  
 会社では、剪定、植栽、外  
 構施工などの業務に携わりな  
 がら、自己の技術研鑽に努め  
 ている。現在は造園施工管理  
 二級の取得を目指し、日々勉  
 強しているそうです。そして、  
 「造園は、天候に影響され、  
 現場仕事は楽しいことばかり  
 ではないが、とてもやりがい  
 がある。」と話していました。

造園の仕事は、技術や要領、  
 体力などの様々なことが要求  
 される仕事であり、入社当初  
 は分からないことばかりで失  
 敗することもあり、先輩から  
 叱られることもあったそうで  
 す。しかし、そういったこと  
 も自ら考えて理解して乗り超  
 えながら、自分が理想とする  
 造園家となることを目指し、  
 日々精進されています。



### 頑張る修了生

西村 好紀さん(坂出市)

平成二八年八月から三か月間は農業科、一二月からは就農準備研修果樹コースを受講し、平成三〇年四月から坂出市府中町で山林の土地を借り、キウイフルーツ栽培を始めました。しかし、まだまだスタートラインに着いたばかりで、土地の岩盤をコンボで掘り起こし、堆肥と田土を入れて畝を作るなどまるで土木工事。今まで経験したことのない作業でした。



今は苗を四〇本植付けて棚まで早く伸ばすように頑張っています。そして主枝が伸びたら樹体ジョイント栽培とい

う栽培方法を試してみます。人生の第一ステージは東京で設備メンテナンスや電子取引システム作り、これからの第二ステージは趣を変えて農業で美味しいキウイフルーツ作りを頑張りたいと思います。

### 校外講師の授業風景

スタジオとみっぺ代表

太田 富英先生

与えない勇氣



農大で情報処理を担当して、はや十年が経った。当初は私自身がしっかりと内容を伝え、その後やってみようとした。だが、二年目のとき、ある人が明らかに興味を失っているのが分かり、即興でフ

リートーク形式にしてみました。魂がこちらに戻ってきた。その時、ふと思った。多くのみんなは小学校から授業の場ですつと与えられてきた。圧倒的な受け身の時間を過ごす中で、勉強にアレルギーを示す人もあるのではないかと。

ここはやり方を大胆に変えてみようと思った。まず何も教えない。完成図だけ見せて放っておいた。当然みんな戸惑う。だが、仕方ないからパソコンをいじくり始める。一番乗りでやり方を発見した人が「できた！」と歓声を上げる。周りがざわつき、その人に尋ねる。気がついたら、ほとんどの人ができている。ついに誰もができなかった部分と、あと一踏ん張りの人のフォローが、私の仕事だ。

いつもテストの最終問題で授業の感想を書いてもらう。「こんな授業は初めてで戸惑った」というのが多いが、同時に「でも今までで一番楽しかった」などと続くことが多い。毎年、勇氣を持って放っておいてよかったと胸をなでおろす。自分で模索し、足り

ないことは人に聞く。これはとても楽しいことで、しかも社会に出ればこちらが普通になる。みんなの気づきの一助になれば何よりだ。

### 免許・資格取得に挑戦

#### 農業機械利用技能者養成研修

農業大学校では、フォークリフト等の技能講習の斡旋、パワーショベル等小型建機 of 安全利用特別教育や、大型特殊やけん引免許取得に向けた研修を実施しています。



農業機械を利用するうえで必要な操作技能や知識を習得することは、就業法や農業法人等への就職に必要であることから、各種免許や資格取得を

できるだけ多くの学生や研修生に勧めています。

特に、「農業機械利用技能者養成研修」は、一般農業者等からの受講希望も多く、人気の高い研修となっています。

学生はもとより、多くの一般受講者も技能試験合格を目指して走行練習に励んでいます。

**造園技能検定**

農業 大学校  
では、  
日本農  
業技術  
検定や  
危険物  
取扱者  
など、  
希望者  
は様々  
な免許  
や資格  
試験に  
挑戦し  
ていま  
す。



が、造園緑化コースでは、造園技能の向上と資格取得のため、国家検定である三級造園技能検定を一学年で、二級を二学年で取得することを一つの目標に、今年もこの試験に挑戦しています。

入門編である三級検定には一学年のうち四名が受検し、七月一四日に学科、七月二〇日に実技試験が行われました。その結果、造園用語などが幅広く出題される学科試験はやや難しかったせい、三名の合格でしたが、実技試験は四名全員が合格しました。

また、二級検定は二学年のうち三名が八月二五日に学科、九月一日に実技試験を受検しました。実技試験では、限られた試験時間で四つ目垣や敷石、飛石などの作製に懸命に取り組みました。その結果は一〇月上旬に発表される予定です。

**同窓会だより**

J A香川県小豆地区営農センター  
営農管理課長 平井 淳次さん

私が農大に入学したのは友人の誘いがきっかけでした。当時、家業で電照ギクとスモモ、葉タバコを作っていたこともあり、農業の基礎について学んでおくことが将来に役立つと思ったからです。

花卉コースで木村喜久夫教

授の下で学び、無事卒業できたのも先生のお陰です。また、バスケットボール部に入部し、農業大学校学生スポーツ連盟全国大会で優勝したのも良い思い出です。



J Aに入組し、農業とかかわり三十五年。小豆島は高齢化で農業を辞退する農家も多いのですが、近年少しずつ変わってきました。農地を借りて法人化していく人も増えつつあります。今まで以上にJ A職員として、農業者と一緒に島の農業を支えていきたいと思えます。

最後に在校生の皆さんへ。二年間の学生生活はあっという間です。在学中に出会った人とは将来、仕事でまた出会うことが多くあります。勉強はもちろんのこと、出会いを

大切にしてください。学生生活を楽しんでください。

**農大ふれあい市**

本校の学生自治会が主催する恒例の「第二三回農大ふれあい市」を次のとおり開催します。皆様お誘いあわせの上、ぜひお越しください。

**開催日時**

十一月九日(土)

午前十時三〇分〜午後一時

**内容(予定)**

- 野菜、果物等の販売
- 苗物、鉢物、堆肥等販売
- 模擬店(焼そば、ピザなど)
- オープンキャンパス

来年度、入学を希望される方や保護者の方で校内見学を希望される方は事前ご連絡の上、受付までお越しください。十一時から学校や入試について説明し、校内を案内します。

**お願い**

駐車場は榎井小学校運動場も利用できますが、数に限りがございます。できる限り公共交通機関をご利用ください。